

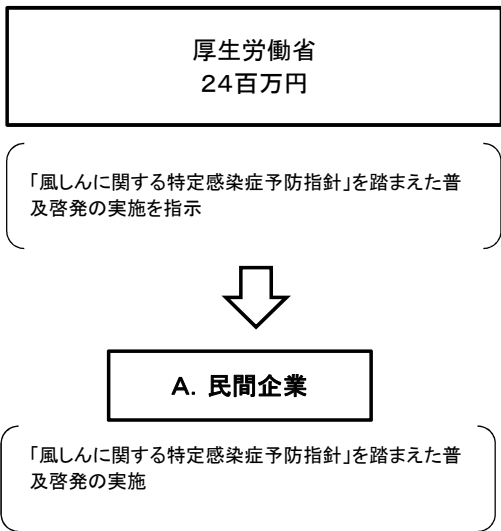
平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	風しんに関する普及啓発経費			<b>担当部局庁</b>	健康局		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	平成25年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	平成26年度	<b>担当課室</b>	結核感染症課		結核感染症課 正林 督章	
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること			
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	-			<b>関係する計画、 通知等</b>	「風しんに関する特定感染症予防指針」(平成26年厚生労働省告示第122号)			
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	早期に先天性風しん症候群の発生をなくすとともに、平成32年度までに風しんの排除を達成することを目標に掲げている「風しんに関する特定感染症予防指針(平成26年厚生労働省告示第122号)」を踏まえて、主として先天性風しん症候群(※)を予防することを目的とする。 ※ 風しんウイルスの胎内感染によって先天異常を起こす感染症							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	予防接種が必要である風しん感受性者を効率的に抽出するための抗体検査や予防接種等について、必要な情報提供を行うことを目的とする。							
<b>実施方法</b>	直接実施							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	<b>予算の 状況</b>	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	24	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	24	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	▲ 24	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0	0	24	0	0	
	執行額	0	0	24				
	執行率(%)	-	-	100%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 26年度	
	先天性風しん症候群の減少(対前年度比)	先天性風しん症候群症例数	成果実績	症例数	-	-	9	
			目標値	症例数	-	-	32	
			達成度	%	-	-	100%	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	民間企業へ啓発ツール作成・配布、専用HPの設置、啓発イベント開催を委託し実施	活動実績	件	-	-	1		
		当初見込み	件	-	-	1		
<b>単位当たり コスト</b>	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	単位当たりコスト = X / Y  X:「執行額」 Y:「普及啓発事業実施回数」	単位当たりコスト	百万円	-	-	24		
		計算式	X/Y	-	-	24 / 1		
<b>平成27・28年度 予算内訳 (単位:百万円)</b>	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	-	-	-					
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	主として先天性風しん症候群を予防することは国民のニーズがあり、国費を投入して行うべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	予防接種が必要である風しん感受性者を効率的に抽出するための抗体検査や予防接種等について、必要な情報提供を行うことは、国が行うべき事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	平成32年度までに風しんの排除を達成することを目標に掲げており、優先度の高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	真に予防接種が必要である者を抽出するためにより効果的な情報提供を行うには、国民の興味・関心を最も惹き付けるイベントを企画する業者を選定する必要があったため、企画競争により支出した。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	必要最低限の経費のみ計上しており、コストの水準は妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	風しん抗体検査や予防接種についての情報提供を行うのために真に必要な費目としている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果目標を達成しており、見合ったものになっている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込み通りの活動実績である。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	風しんの予防接種が必要である風しん感受性者を効率的に抽出するための抗体検査や予防接種等について、必要な情報提供を行う事業であり、各点検項目毎の評価も妥当であり、先天性風しん症候群の症例数は前年度の4分の1程度に減少したため、当事業は適正であったと考える。				
	改善の方向性	当事業は予定通り26年度で終了。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
予定通り終了	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了とした。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	128			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



**費目・用途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)博報堂			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	啓発ツールの作成・配布、専用HPの設置、啓発活動の企画・開催	24			
計		24	計		0

**支出先上位10者リスト**

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)博報堂	風しんの感染予防に関する普及啓発事業	24	企画競争	-
2	クリエイティブオフィスelan	風しんの感染予防に関する普及啓発リーフレットデザイン	0.5	-	-